

# 未来への遺産

VOL.69



無病息災を祈って浴びる「寒の水」

## 心頭滅却すれば 水もまた暖かし



まつりの開始を告げる先達

今年もまた、寒の水の季節がやってきた。毎年1月20日の大寒の日、夕暮のとはりが降りる頃、区長・熊野社氏子総代・神職及び行者の上衣をはおる長老役付の先達たちが、法螺貝を吹き太鼓を叩いて区内を一巡し、道を浄め、まつりの開始を告げる。

「桶出したり、水出したり、浴びて通るは寒の水」  
この先祓いの行列が戻ると、集まっていた青壮年の水行者たちが、ふんどし一丁の裸姿で、わらで編んだ兜巾をかぶり、わらじを履き、一斉に道路に飛び出す。

以前は家ごとに水の入った手桶を道端に出したが、今は公民館前の広場など数箇所を用意された水槽の水を手桶にくんでざんぶとかがる。そして凍てつく道を走り、区の北方にある熊野神社に詣で兜巾を奉納する。水行者は帰りにも寒の水をかぶって帰り、庭先で焚くわら火で身体を暖め、衣服をまとい、年番に当たる宿舎の繁栄と火災のなきよう祭壇に参拝する勇壮なまつりである。

本来、修験にかかわる祈禱にその発祥があるようで、古くはムラの護摩堂に、1月14日から7日間参籠し、満願の20日夜、物忌みを果たした人々のハレの形として裸でムラ内を一巡、火・水・盗難などの厄除けをし、五穀豊穡・無病息災を祈願した。

かつての修験の行法の名残を年中行事とした貴重な習俗である。

御代田町の人口(12月1日現在)

●人口 14,317人(先月比+12) 男 7,172人 女 7,145人  
●世帯数 5,592世帯(先月比+3) ●外国人登録者数 820人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2 ☎0267-32-3111